

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2013年4月1日 ～ 2018年6月30日の間に、造血器疾患のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、同種造血細胞移植を受けられた方

### 【研究課題名】

急性骨髄性白血病に対する同種造血細胞移植後の臨床経過と白血病幹細胞についての検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

急性骨髄性白血病病における白血病幹細胞を反映するとされる CD34 陽性 CD38 陰性細胞の数や割合が、同種造血細胞移植後の臨床経過（主に再発）に与える影響を明らかにすることを目的とします。

#### 《研究に至る背景》

急性骨髄性白血病の再発は治療後の患者さんにとって大きな問題です。近年、再発の原因の一部は、治療後に残った白血病幹細胞によると考えられています。化学療法後の再発には、この白血病幹細胞が影響するということが示されていますが、同種造血細胞移植後の再発についてはよく分かっていないことが多く、その予防法や治療法を開発する上で重要な情報となります。このことから、本研究ではこの点に着目して解析を行います。これらの情報は同種造血細胞移植を行う際、事前に再発の可能性の見積もりを立てたり、それに対する移植後のマネジメントを検討する際の重要な指針となり、今後の移植医療の発展のためにも意義深いと考えられます。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年8月6日 ～ 2022年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院・血液内科・高木伸介のもと研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当しません。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、薬歴

【研究代表者】

虎の門病院・血液内科・谷口 修一

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科・谷口 修一

【利用する者の範囲】

共同研究機関：なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月28日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・高木 伸介

電話 03-3588-1111(代表)